

食草園が誘う 昆虫と植物の かけひきの妙

文部科学省選定 平成27年7月13日
選定対象
映倫「次世代への映画推薦委員会」推薦

小さな生きものを集めて「生きていく」
「生きていく」ための生き物たち

見なれた蝶々と、
どこにでも生えている
草花たちの物語。
まだまだ
知らないこと
ばかり…



原簿：本館蔵書・熊本大：蔵中村桂子・小倉蔵書館・たけふ山陽研究所蔵書・ミナソノアマノナツコ・イシノリ
監修：藤原道夫 編集：村田英克 監修：平野直美 監製：山崎英夫
2022年（日本）7月10日（日）ドキュメンタリー（16）16分 録音：録音：JT生命誌研究館



日時：令和5年10月7日（土）

①午前10時～正午

②午後2時～4時

定員：各回30名（先着順）

対象：中学生以上

場所：大泉図書館2階視聴覚室

練馬区大泉学園町2-21-17

申込み：大泉図書館1階カウンター

または電話☎03-3921-0991

①、②は
同じ内容
です。

*当日、体調不良の場合は、来場をお控えください。

*お申し込みの際に頂いた個人情報は、図書館から必要なお連絡を差し上げるために使用します。



むらたひでかつ
村田英克氏

1963年神奈川県生まれ。Bゼミ Schooling System 終了。2003年より JT 生命誌研究館で展示・映像・出版等に携わる。2014年音楽劇「生命誌版セロ弾きのゴーシュ」の製作・出演。2015年に記録映画「水と風と生きものと中村桂子・生命誌を紡ぐ」（藤原道夫監督）を企画・製作。コミュニティシネマとしての上映活動を続ける。2022年に記録映画「食草園が誘う昆虫と植物のかけひきの妙」監督・撮影・編集。

作品解説

記録映画「食草園が^{いざな}誘う昆虫と植物のかけひきの妙」



出演：永田和宏 ・ 奥本大三郎 ・ 中村桂子 ・ 大倉源次郎 ・ JT 生命誌研究館館員 ・
ナミアゲハ ・ アマミナナフシ ・ イヌビワほか

監督・撮影・編集：村田英克 ギター音楽：末森樹 整音：百済伸晃 撮影：中井彩香・室園純子
宣伝美術：山福朱実

2022 年 | 日本 | 73 分 | HD | ドキュメンタリー | 日本語字幕 | 提供：JT 生命誌研究館

生命誌研究館の屋上にある小さな庭で、チョウが蜜を吸う花と、幼虫が食べる植物（食草）を育てる「食草園」では四季を通じ、さまざまな虫たちが訪れ、植物と昆虫の関わり合いのドラマを演じています。本作は、同名の企画展示にまつわる研究館の日々を、館員の目線から辿るドキュメンタリーです。皆さんもスクリーンで、食草園の生きものの観察を！ ナナフシに餌やりを！ 体験してください。きっと、さまざまな生き方への共感が湧いてくるでしょう。小さな虫や草花の語る物語に耳を傾ける「研究館の日常」は、「生きものの世界」への入り口です。